

大腿骨転子部骨折の早期手術割合

本指標は日本病院会における QI プロジェクトの指標を参考に、DPC 分析ソフト「ヒラソル」を用いて、下記の定義に基づき算出しております。「ヒラソル」にて他施設も同条件で算出することにより、一定程度の施設との比較をすることが可能となります。

<指標の説明・定義>

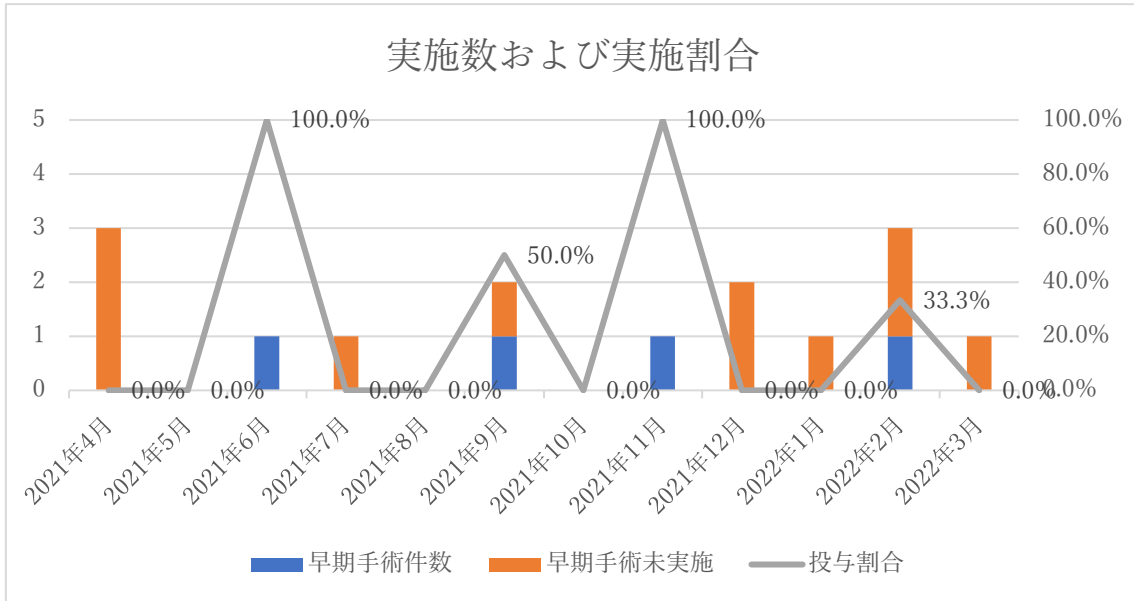
大腿骨転子部骨折は、ガイドラインではできる限り早期の手術を推奨されています（Grade B 大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン 改訂第 2 版）。本指標では、各手術について、入院 2 日以内に手術を受けた症例数として計測を行い、整形手術に関する医療提供体制を評価する指標になると考えています。

■分子： 分母のうち、入院 2 日以内に手術を受けた症例数

■分母： 大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例

- 収集期間： 2021 年 4～6 月分、2021 年 7～9 月分、
2021 年 10～12 月分、2022 年 1～3 月分
- 使用データ DPC 様式 1

<2021年度 大腿骨転子部骨折の早期手術実施数および割合>



<2021年度 大腿骨転子部骨折の早期手術割合ベンチマーク（ヒラソル登録施設）>

